



帯広市上下水道部キャラクター
ミナモくん

平成28年度 水道・下水道事業会計の決算

災害に強く、いつでも安全に、安心して
利用できる上下水道を目指して

決算は9月12日から開催の定例市議会にて審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課（市庁舎水道棟2階、 ☎ 65・4212）

水道事業会計の決算

おいしい水道水を作り
確実に届ける

収益的収支における収入は44億7095万円（前年度比0・9%増）、支出は37億5413万円（同

0・8%増）で、家庭などからの水道料金収入が増加した一方で、借入金利息が減少したことなどに

より、収益的収支は7億1682万円（同0・9%増）の純利益となりました。この純利益は今後の借入金の元金返済などに使用する予定です。



水のおいしさをPR

おびひろ極上水 検索

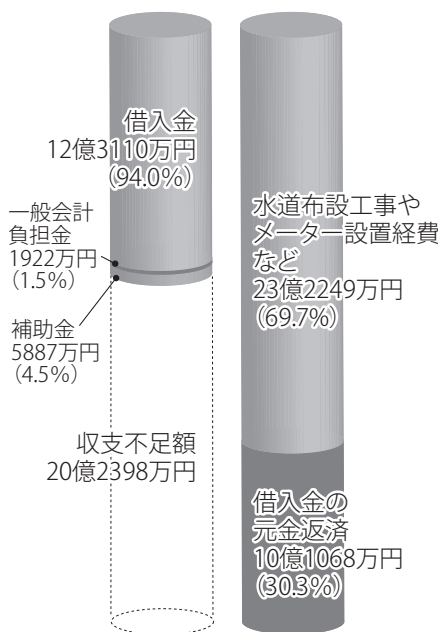
水道施設や水道管を整備する

資本的収支における収入は13億919万円（同17%減）、支出は33億3317万円（同3・1%減）で、収入の不足は収益的収支の減価償却費^{※1}などで補填しました。

水道施設の建設や水道管を整備、更新するための収入と支出

資本的収支

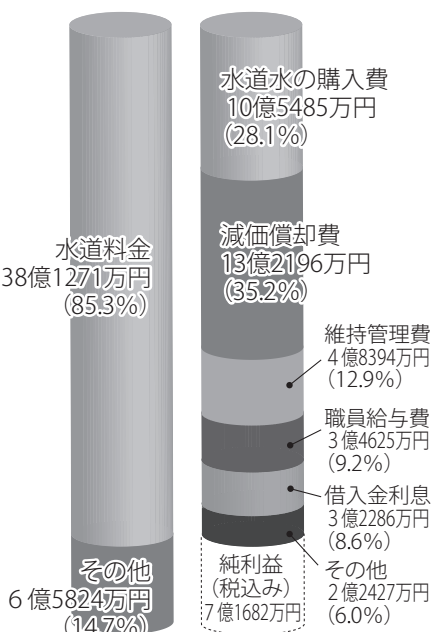
収入 13億919万円
支出 33億3317万円



水道水を作り、届けるための収入と支出

収益的収支

収入 44億7095万円
支出 37億5413万円



水道事業の主な取り組み



稲田浄水場設備機器の更新

▼上下水道部の在職経験がある退職者の協力により災害時の体制強化を図る制度の創設▼新たな水道管の整備や老朽化した水道管の更新▼中長期的な財政状況などを考慮したインフラ基本計画^{※2}の策定▼稲田浄水場設備機器の更新（平成27～29年度）▼中島配水区の水道管の整備など

下水道事業会計の決算

汚れた水を集めてきれいにする

収益的収支における収入は49億8070万円（前年度比4・5%減）、支出は44億6207万円（同4・7%減）で、その他の収入に含まれる減価償却に伴う負担金が減少したことにより、収益的収支は5億1863万円（同3・6%減）の純利益となりました。

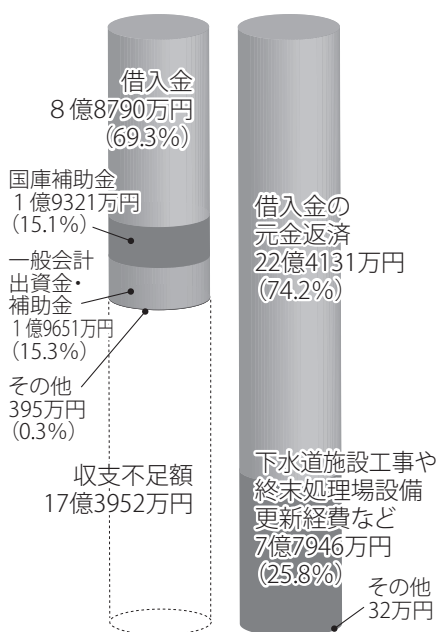
終末処理場や下水道管を整備する

資本的収支における収入は12億8157万円（同4・3%減）、支出は30億2109万円（同1・3%減）で、収入の不足は収益的収支の減価償却費などで補填しました。

終末処理場の建設や下水道管を整備、更新するための収入と支出

資本的収支

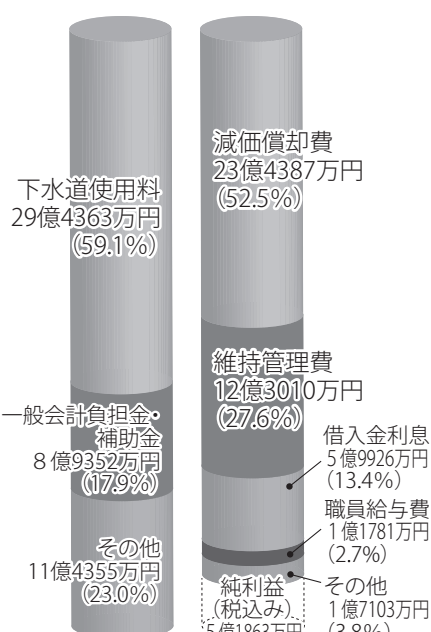
収入 12億8157万円
支出 30億2109万円



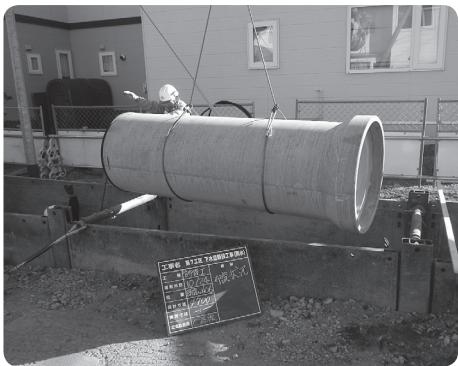
汚れた水を集めてきれいにするための収入と支出

収益的収支

収入 49億8070万円
支出 44億6207万円



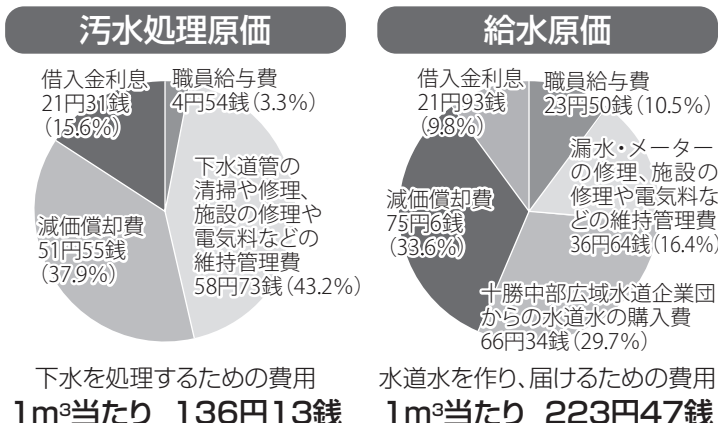
下水道事業の主な取り組み



雨水管の整備

▼新たな下水道管の整備や老朽化した下水道管の更新▼局地的な豪雨発生時の浸水状況の広がり方を解析する浸水シミュレーション▼中長期的な財政状況などを考慮したインフラ基本計画の策定▼帯広川下水終末処理場の更新など

水道・下水道事業の費用の内訳



これからの帯広市の水道・下水道

平成28年度の決算は、水道、下水道事業ともに純利益を計上するなど、健全な状況を維持できました。しかし、今後は人口が減少し使用量が減少する一方、多くの老朽化した施設の更新が必要となります。

今後も健全な企業経営のもと、生活に必要な不可欠な上下水道サービスを提供し続けるため、中長期的な視点に立ったインフラ基本計画に基づき、計画的な施設の更新や、災害に強い施設づくりなどを進めていきます。



下水道キャラクター
スイスイ

※1 減価償却費 施設が古くなり価値が減った分を費用として換算したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わず、新しい施設を作るときの財源に位置付けられています。 ※2 インフラ基本計画 施設の維持管理・更新などの中長期的な取り組みの方向性を明らかにする計画です。